



玉川村立
玉川第一小学校

自ら取り組み、心豊かでたくましい子ども



令和3年7月20日
No. 11
文責：校長 酒井

学校だより 玉一っ子通信



充実の1学期から充実の夏休みへ

72日の1学期が終了します。

昨年度の1学期は休校を挟み、夏休みを短くする等対応に迫われましたが、今年度は制限のある中でも、**教育課程がほぼ予定通り進められたこと**、改めまして、保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

玄関先訪問、前後半に分けての授業参観そして一年越しの懇談会、PTA奉仕作業。安全上、夏休みの開放を断念したため、1学期のみに前倒しして実施した水泳学習、そして水泳記録会。更には、5月末に実施できず延期していた尾瀬環境学習を中心とした修学旅行も、無事先週末に行うことが出来ました。

新型コロナウイルス感染症の完全収束はまだまだ先が見えませんが、子ども達一人一人は、マスク、手指消毒、密を避ける工夫など、**日常での習慣化が身につけてきました**。毎日の検温や健康観察など保護者の皆様のご協力のおかげで、全員が健康に安全に夏休みを迎えられることに感謝いたします。



<大江湿原のニッコウキスゲと>

コロナ禍を言い訳にしない夏休みを！

今年度の夏休みは35日。担任には、学校の方針として「**課題はできるだけ少なく**」と指示しました。

1学期の学習の復習や2学期の内容の予習などももちろん大切ですが、家庭や地域ごとの行事、村内の球技大会や各種スポーツ少年団の活動など、**長期の休みにしかできない経験や体験を多く積むには絶好の期間ですし、最も大切なことです**。子ども達には、夏休みにしかできないことに是非チャレンジしてほしいと思います。余裕があれば、**理科の自由研究**に親子で取り組んだり、**東京オリンピックの新聞**をつくったりすることもお勧めです。もちろんコロナ対策は夏休み中も慎重に進めなければいけません。

コロナ禍に加えての猛暑も予想されます。しかし、家の中にもってゲームやYouTubeに釘つけの毎日では、1学期の頑張りがあつという間に水の泡となります。先日、4～6年生に行ったSNSのアンケートでは、**毎日5時間以上ゲームに向かう児童**やオンライン上で様々な**トラブルに遭遇した児童**など、たくさんの課題が明らかになりました。(裏面参照)どうか、コロナ禍を隠れ蓑とする夏休みだけにさせたくないものです。

目指せ！読書100冊。



ボランティアの皆さんによる、毎週金曜日の読み聞かせや学校司書の我妻さんによる、図書整備や紹介など、本年度の指導の重点の一つとした読書指導ですが、数年前から図書室がパソコンの設置場所となったため手狭となり、各教室の廊下の本棚に学年にあった本を移動させて対応していました。しかし、それがかえって子ども達には本が身近になり、休み時間のちょっとした時間や課題が終わったときなどの隙間時間にも読書に親しむ子が見られるようになりました。

今学期、たくさんの本に親しんだ子は、本日配付される「図書だより」でも詳しく紹介されていますが、**100冊越えのマイスター(達人)**は次の通りです。

2年 本橋 莉愛 さん	141冊	2年 首藤かのん さん	100冊
2年 草野 愛和 さん	106冊		

※ 夏休みの課題として、学校の図書を3冊程度持ち帰ります。